

# 指導案検討は勤務時間内で！ 研究冊子は簡素化！

## 9月市議会で学校教育部長が答弁

### さいたま市教組情宣

さいたま市  
教職員組合  
(埼教組)  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
e-mail  
saitama@  
kyouiku-net.org  
2005. 10. 28(水)  
No. 9 1

市教組の団体交渉は、市議会常任委員会での学校教育部長答弁、教育委員会との確認事項において、職場の声を反映し、前面を引き出しています。

「各学校では、勤務時間を超えることがないように、会議の精進や事務の効率化を図っております。また、研究委嘱校においては、指導案の検討は勤務時間内で行うこと、研究物等の冊子は簡素化するなど指導しております。」

これは、九月のさいたま市議会常任委員会で「病休や精神疾患への勤務時間の適正な割り振りを含めた対応」について問われた学校教育部長の答弁です。

また、七月に行われた勤務時間問題市教委団体交渉では、以下のようなことが確認されています。



### 調整の対象になるもの

週時程にあるもの  
(職員会議、運営委員会、各部会、学年会)・校務分掌にある会議・生徒指導、保護者に関すること(保護者会、懇談会、個人面談、家庭訪問)・課外に関すること(朝練習、放課後の練習等分掌で提案された物は校長が認められる)・たものであるから対象になる。

### 泊をとまなう

#### 学校行事の調整

出発時刻、夕食後の班長会議、帰校時刻等を総合的に勘案して、適正に勤務時間の割り振り変更を行う。朝と帰りの時間はも

ちろん、しおりにある行事までの時間は(濃淡はあるが)常識的なところではないか(〇四年度教職員課長確認事項)。調整時間「〇」はあり得ない(同課長談)。

これまでの職場からの声、それに基づく交渉が市議会答弁につながっています。今後、みなさんの職場での問題、声を組合にお寄せ下さい。上記の確認事項や市議会答弁を生かし、少しでも働きやすい職場を作っていきます。

### 連続コラム 第3回

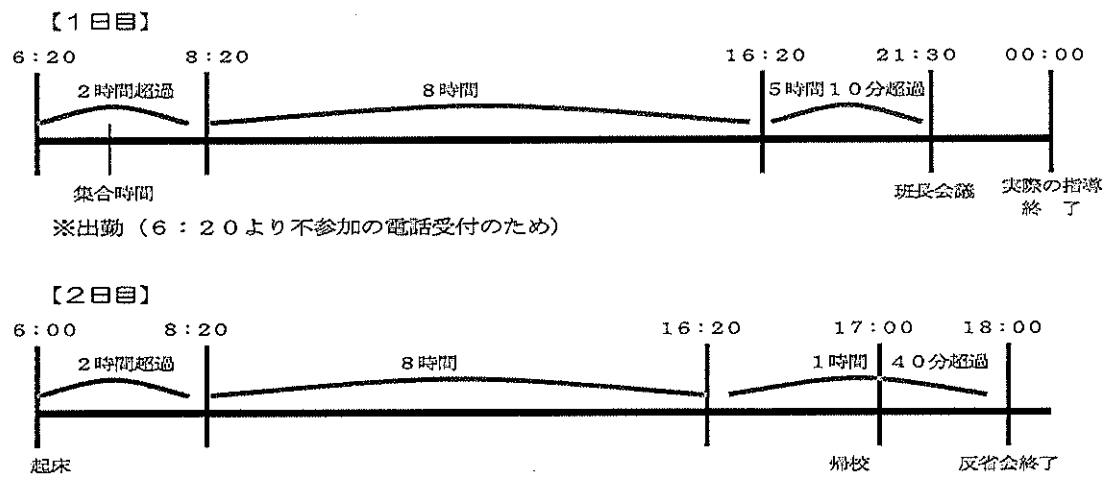
ブルーマンデー(憂うつな月曜日) 症候群って聞いたことありますか。

厚生労働省も、自殺者が最も多いのは月曜日という統計を発表しました。「月曜日はつらい」これはよく聞く声です。労働者のメンタルヘルスに携わる精神科医たちはこんなアドバイスをしています。

### 組合ってなあーに

「四十八時間は休む。休みは、自分を取り戻す形で休息する」「休日は早寝、早起きを心がけ、アルコールで身体に負担がかかりすぎないようにする」あなたも心がけてみましょう。何よりも健康で働くために。そして「職場環境を整える」ことも大事なことだと指摘しています。

### (例) 1泊2日の場合



【計算の仕方(教職員課長も認めた最低線)】  
1日目・朝の2時間+5時間10分=7時間10分(実際にはあと2時間30分取れる)  
2日目・朝の2時間20分+1時間40分=4時間  
合計・11時間10分(7時間10分+4時間)

### 福祉文化

さいたま市が少人数制の児童養育施設を、前向きに、なりまじりた人数を少なくする。低学年で小学校は、よりよい結果をもたらしている。少人数制の導入を検討する。藤間教育長の九月議会答弁/さいたま市教組も加盟する「三〇人学級を実現するさいたま市民の会」では、昨年三万六千筆、四年間で一六筆以上の請願署名を集めてきました。三〇人学級を実施した鳥取県では、教育委員会が効果に対するアンケート調査を行い、小中学校の教員、そして保護者、みな効果が上がったとの回答が多くなりました。市の年間予算の〇・一%、四億八千万で小学校一年生でスタートできます。市では企業誘致のため最高一〇億円補助する制度をこの十月から開始しました。ぜひ、子どもたちのためにも予算を使ってほしい。今年度も署名に取り組んでいきます。ご協力をお願いします。